



# YMCA 大阪青年



2018年3月1日発行  
1916年5月1日創刊  
発行 / 末岡祥弘  
編集 / 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

## 出会いと別れ

### 未来へ歩む若者へ

**May the road rise to meet you.**

道があなたの前にそなえられていますように。

**May the wind be always at your back.**

風がいつもあなたの背中をおしてくれますように。

**May the sunshine warm upon your face.**

太陽があなたの顔を暖かく照らし

**And rains fall soft upon your fields.**

雨があなたの畑をやさしく潤しますように

**And until we meet again.**

そしてまた会う時まで

**May God hold you in the hollow of His hand.**

神様の手があなたをやさしく包んでくれますように



YMCAたかつきあま保育園の子どもたち

日本の社会では、3月～4月は出会いと別れの季節です。数多くの学校や様々な組織では、送別会や卒業式が持たれますが、英語では卒業をcommencementと呼び、終わりを意味せず、始まりを意味します。一回きりかもしれない出会いの中に人生全体に繋がる大きな喜びがあり、その時を共に持てたことを感謝し、同時にこれからの出会いの始まりの時とするのです。

自然界では樹木は1年の中で冬に古い葉を落とし、春に若葉を芽生えさせ、自らを新しく

更新する生命のサイクルを持ちますが、人間の社会は自覚的にこのサイクルを持って成長しなければならぬことをかつて教えていただきました。人生の中で繰り返される出会いと別れの中にこそ、生命のサイクルがいきいきとほたらき、一人ひとりの人生が新しく、豊かにされることを願います。

大阪YMCAもまた自覚的に、春より総主事を新しくし、新しい歩みを始めます。

「みつかる。つながる。よくなっていく。」

出会いと別れが、YMCAに関わるお一人お一人

にとって、永遠につながる素晴らしい一瞬一瞬であることを心より祈ります。



大阪YMCA 第12代総主事

すえおか よしひろ

末岡 祥弘

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。





# みつかる。つながる。よくなっていく。

## ～YMCAこども園事業部から～

私たちは、キリスト教保育に基づき、一人ひとりが、かけがえのない存在であると感じ、喜びと感謝を持って  
生きる子どもを育みます。そして、子どもの心に寄り添い丁寧に関わる保育を行います。



### みつかる

保育園は、子どもたちが安心してのびのびと過ごすことのできるよう、家庭のぬくもりや温かみを感じられるように取り組んできました。愛されている喜び、他者との違いや認め合うことなど子ども自身が感じ見つけながら、「生きる力」を家庭や地域の方々と共に育むことが大切であると思います。それは土の中に隠れて支える根っここの部分を育むことに似ています。見えないところを大切にすることはキリスト教保育の根幹であり、YMCA保育のありかたです。

保育園の入口には、保育園で見つけた「優しい心」、「友だちと遊ぶ楽しさ」、「たくさんの笑顔」など、子どもたちや保護者によって書かれたカードを飾った“みつかる木”があります。これからも保育園でたくさんものに出会い、小さな胸にあ

る心の種が少しずつ成長していくことを願って、子どもたちと共に笑顔溢れる毎日を過ごしていきたいと思ひます。



【YMCAとさぼり保育園 園長 濱添 吉生】

保育園の子どもたちは毎日いろいろなものに目を向け、心を向け、たくさんのお会いを楽しんでいます。子どもたちが見つめる先には、目の前のことだけではなく、目に見えないものまで豊かに感じる心があり、手を伸ばし、心を研ぎ澄ませて、一つ一つを確かめています。子どもの心が動かされた時の眩しいほどの笑顔、優しい眼差し、真剣な顔、くるくると表情が変わる、その姿をとても愛おしく感じます。これからも子どもたちの育ち行く毎日を見守りながら、共に歩みを進めたいと思ひます。

### ～お友だちへ～

いつもたくさんの笑顔を見せてくれてありがとう。みんなの笑顔はたくさんの人を元気にするパワーや温かさ、優しさがあって、とても素敵で大好きです。これからも保育園でいろんなものを目にして、見つけて、感じて、楽しんで、心豊かに大きくなっていてくださいね。

【YMCAとさぼり保育園 スタッフ 山内 淳子】

ぶどうのきはね、ほくにとってもママにとってもいごこちのいいばしょなんだ。だって、おへやには



【YMCAとさぼり保育園 副園長 木山 敦子】

さわってきもちいいおもちゃや、ほくがむちゅうになってしまうおもちゃがあって、あそんでいるうちにできなかったことができるようになって・・・ママもおよろこびになるんだ。ここでママとあそんでいるうちに、いままでできなかったほくのひかっているところをママがみつめてくれるんだ。ここは、ママとほくの「はじめてであうじぶん」がみつかるところだよ。

### つながる

しろがねこども館は、様々なプログラムを通して、地域の子どもたちにとって「安心できる居場所」となるように、日々のつながりを大切に活動しています。

保育園では、神さまにつながる子ども、保護者、保育者が、一人ひとりに与えられた賜物を大切に育みながら、共に成長できる場所でありたいと願ひ、日々を過ごしています。

また、アフタースクール(学童保育)では、様々なことに目を向け、思いやりの気持ちを育めるよう取り組んでいます。幼稚園のバザーに出店参加し、



その売上金をミャンマーの子どもたちに教育支援として、今年度は楽器のプレゼントをしました。自分のことだけでなく、周りの人

のことに思いを寄せたり、グローバルな視点での考えを育んでほしいと願っています。

そして、子育て支援活動「子育てサロン」では、月1回の子育て支援イベントを企画し、親子でダイナミックに遊ぶ運動プログラムや感染症などについての講演会など子育て情報の発信を行っています。今後も社会の課題解決に向き合っていくことがより必要だと考えています。YMCAこども館が一つのきっかけとなり、人と人がつながり、互いに支え合うことの出来る地域づくりの拠点となるよう願っています。

そして、子どもたちをしっかりと見守り続けながら、ユースリーダー、保育者、保護者、Yボランティアとして、いつまでもつながることのできる居場所(YMCA)でありたいと考えています。

【しろがねこども館 所長代理 野田 寿加子】

い気持ちになったり...。たくさんの感情が芽生えます。それはきっと子どもたちも同じだと思ひます。そのような子どもたちの気持ちに寄り添いながら、一つ一つの出会いを大切に、そこから繋がる輪を広げていきたいです。

【YMCAたかつきあま保育園 スタッフ 新井 陽子】

子どもたちはYMCA保育園で家族以外の他者と出会い、神と人から愛され、小さな社会に参画します。この人生はじめての良きつながりが、聖書に示された「あなたの未来には希望がある」というメッセージの糧となることを信じ、また大人も良きつながりを広げ、未来への希望を見出していきたいと思ひます。



【YMCAたかつきあま保育園 園長 橋本 啓】

### よくなっていく

あわぎ保育園では、北米のホワイトブレースYMCAチャイルドケアセンターとクリスマスカードを送り合う機会がありました。心をワクワクさせながらカードを制作し、また先方から届いたカードを見た時、新しい友だちとつながって



いくことを感じました。掲示されたカードを見た保護者から、「子どもがカードを作った時や見た時の話をしてくれて、家族での会話が広がりました。」と聞き、互いによくなっていくことを感じました。

健やかに育つ子どもたちを見てると、いきいきと喜びを感じながら育ててほしいと思ひます。そのために乳幼児期には、心の根っこや生きる力の基礎を育てることが大切になります。大人が子どもをしっかり受け止め、自己肯定できる環境を整えることで、自分はありのままのままでいいと思える素直な気持ちが芽生えていきます。

【YMCAあわぎ保育園 園長 樋上 恵一】

大人と大人、大人と子ども、子どもと子ども、思いを寄せ合い共にいる環境をお互いが作り出し、影響を受けます。例えば、友だちがつまずいた時、子どもたちはどんな行動を取るでしょうか。

つまずくのを見た子どもは、つまずいた友だちの側まで駆け寄りますが、その友だちの力を信じて静かに見守り、「大丈夫？」と声を掛けます。友だちが立ち上がって笑顔の見えた瞬間、共に喜んで手を叩き、体を撫でて、「すごいね」「上手」と認め合います。友だちが見守り、共に喜んでくれると

信じているから立ち上がってみようとした、この姿に共にいる中での支え合いが感じられます。

日々の繰り返しの中で、お互いの存在によって心も身体も豊かになり、よくなっていきます。一人ひとりの存在がかけがえのないものであることを、愛情に包まれる中でたくさん感じて欲しいです。

【YMCAあわぎ保育園 スタッフ 越智 絵美】

### 未来を生きる子どもたちとともに

YMCAは、キリスト教保育の実践を目標に日々過ごすことを大切にしています。そして、乳幼児期に「愛されている」ということを子どもが実感することを何より大切にしています。なぜならこの愛されているという経験が、将来の辛いこと・苦しいこと・悲しいことを乗り越える時の生きる力に繋がると信じているからです。子どもは、様々な人との出会いや関わりを通して、喜びや時には悲しみ、悔しさも感じながら大きく成長していきます。そして、その様々な経験から自信と少しの勇気を身に着けて、これからの未来を力強く歩いていこうとしています。この一生懸命に生きている子どもたちの心に寄り添い、しっかりと見守り、いつも励まし、どんなときでも、信じて応援する大人(YMCA)でありたいと思ひます。





## 3色の栄養バランスを考えよう

YMCAとさぼり保育園 スタッフ やまなか じゅんこ 山中 淳子

第2次大阪市食育推進計画の今年度の目標は「栄養バランスを考えよう」です。YMCAとさぼり保育園ではこの目標に沿って、園だよりやクッキング等で栄養バランスについて考える時を持ってきました。その中から「3色栄養」のお話をしたいと思います。

3色とは赤・黄・緑の3色で、赤色は肉・魚・大豆製品などメインのおかずになるもの、黄色は米・パン・麺など主食になるもの、緑色は野菜類となります。それぞれ働きも異なり、保育園では、『赤色からは体が大きくなるパワー』『黄色からは元気が出るパワー』『緑色からは病気に負けないパワー』がもらえるよ。」と子どもたちに話しています。

献立を考える時には「赤・黄・緑、全部揃っているかな?」と考えたり、「昼ごはんはパン(黄色)だけだったから、夜はお肉やお魚(赤色)と野菜(緑色)をしっかりと食べよう」など、過不足しているものを振り返る時間を持つだけでなく、摂らなければいけないものが自然と見えてくると思います。

また、年長児を対象に栄養素のお話も食育の一環として行っています。話を聞いた子どもたちは、毎日、給食で使う食材を3色のグループに分けて、バランスを少し意識しながら給食の盛り付けを自分で行っています。

家での食事だけではなく、外食した時などもバランスを意識できるといいですね。



## 地域の方々とのつながりと喜び

かわい みほ YMCAしろがね幼稚園 園長 河合 美保

3学期の恒例行事「おもちつき」に、今回も地域で活動されているプラチナ倶楽部の方々においでいただきました。「よいしょ!よいしょ!」の掛け声に合わせ、威勢よく始まります。つき手とかえし手の息もびったりなプラチナ倶楽部の皆さんの姿に、「すごい!」と驚く子どもたち。また、「しっかりとって」と子どもたちのお手伝いもしていただきました。つきたてのおもちをお土産に、「また来年!」と爽やかに帰るプラチナ倶楽部の皆さんのいきいきとした顔がとても印象的でした。

また、猪名川町にある介護老人保健施設にも訪問しました。年中組は「ふれあい大島」へ、年長組は「晴風園」へそれぞれ出向き、触れ合いの時を持ちました。子どもたちが「ひなまつり」の歌を歌い始めると、おじいさま、おばあさま方も自然と一緒に口ずさんでくださり、年齢差80歳を超える素敵な合唱団となって、共に喜んでいました。

少しの時間でしたが、子どもたちは、それぞれの活動を通じて多くの方に見守られ支えられていることを知り、また自分たちの笑顔が地域の皆さんの喜びになることを感じられた素敵なひと時となりました。



## 国際専門学校学生 最優秀賞(文部科学大臣賞)受賞! ~全国専門学校英語スピーチコンテスト~

2017年12月11日、東京の中央区立日本橋公会堂にて開催された「第35回全国専門学校英語スピーチコンテスト」に、大阪YMCA国際専門学校の代表としてValencyさん(国際ビジネス学科1年・インドネシア出身)が出演し、全国から集まった17名の代表の中から「最優秀賞(文部科学大臣賞)」に選ばれました。大きな表彰カップを大阪に持ち帰り、「このような名誉ある賞をいただけてとても嬉しい。出場のチャンスをいただけたこと、また本番前日までご指導くださった先生方から心から感謝しています。」とクラスメイトの前で喜びの報告をしました。



## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第299回 日時...2018年3月16日(金) 7:30~8:30

証し...たけなか とよあき 竹中 豊明さん  
(大阪YMCA体育事業部 スタッフ)

場所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

## 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2018年1月度報告・敬称略

### 【新規会員】

井内 陸斗  
岡 望  
岡田 里佳子  
嘉藤 美希  
河田 佳輝  
北野 優  
高橋 日菜子  
中尾 ひかり  
中田 真帆  
藤澤 信吾  
松本 優

### 【継続会員】

池上 正  
市田 恒夫  
乾 涼香  
井之上 芳雄  
鶴川 まり子  
大野 真由美  
大東 義史  
岡村 千陰  
沖野 千咲都  
奥田 和弘  
金岡 重雄  
蒲田 泰宏  
小池 晃  
後藤 清  
齋藤 中哉  
阪口 千穂  
笹田 英生  
志田 育夫  
清水 真一

### 菅 秀晃

瀬川 真以  
竹花 マリ子  
谷川 寛  
谷口 友那  
中井 正博  
西牧 駒蔵  
二宮 聡  
長谷川 ゆかり  
浜野 慎也  
速見 莉奈  
福永 嘉彦  
藤崎 優希  
牧瀬 由佳  
松尾 博之  
松下 那菜  
山内 信三  
山口 彩華  
吉田 誠二

### 【継続賛助会員】

紀伊産業株式会社  
株式会社創元社  
朝陽電気株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧ください。

